

震災がれき

早期受け入れに全力と知事

愛知県議会、調査費専決を承認

大村秀章愛知県知事は23日の臨時県議会で、震災がれき受け入れに向けた調査費6億円の本年度補正予算を、議会の議決を経ずに専

決処分したことについて「(施設建設予定地に)しっかり説明した上で、被災地の復興を支えるため、一日も早く受け入れができる

よう全力を尽くしたい」と理解を求めた。議会は同日夕、専決処分を全会一致で承認した。補正予算には、焼却炉や

最終処分場設置のためのボーリングや環境調査などの費用を計上した。

大村氏は3月、がれき受け入れ方針を表明。中部電力碧南火力発電所(碧南市)やトヨタ自動車田原工場(田原市)、名古屋港管理組合の最終処分場(知多市)の3カ所に処理施設を建設し、最大100万トンの

受け入れを目指す。4月には「緊急性が高い」として補正予算を専決処分した。

議会の過半数を占める自民党内では、予定地への説明がないことに反発もあり、県側の答弁を踏まえ、専決処分承認の可否を判断するとしていた。